



CSRレポート 2022

目次

- 1 ごあいさつ
- 2 こうち生協とは
- 3 こうち生協の SDGsの取り組み
- 4 **誰もが安心して暮らし続けられる地域社会づくりに参加します**
- 8 **健康づくりの取り組みを広げ、助け合い活動を進めます**
- 9 **平和な社会をめざす活動を進めます**
- 10 **多様な人々が共生できる社会づくりを推進します**
- 11 **持続可能な社会づくりをめざします**
- 13 **2021年度環境レポート**
- 17 **組織の概況について**

編集方針

この報告書は、こうち生協が取り組んでいる社会的責任・社会的役割に関する活動を報告するものです。この中では、国連が 2015 年に採択した「持続可能な開発目標(SDGs)」と関わりのある事業や活動の事例にアイコンを掲載しています。



対象期間

2021年度の事業・活動を報告しています。

ごあいさつ

国連総会で採択された「SDGs 持続可能な開発目標」は、地球を、人類を次の世代へとつないでいくための課題でもあります。今、世界は新型コロナウイルス感染症の拡大により、あらためて「いのち」というものに向き合い、世界中のみんなが協力して感染拡大防止に取り組んでいます。



そういった中で、この2月に起きたロシア軍のウクライナ侵攻は、戦争犯罪であり国際法においても認められない残虐な行為です。そして、SDGsの17個の目標のうち、16番目の「平和と公正をすべての人に」で約束した内容とは全く真逆の行為です。一日でも早く、平和的な解決がなされ、人の命が守られ、ウクライナの自然環境が守られ、次の世代へとつながっていくコトを心から願います。

さて、こうち生協では、2021年度の理事会の中で、あらためて、自分たちが行っている事業や活動が「SDGs 持続可能な開発目標」とどう結びついているかを考える場を持ち、私たちの事業や活動だけではなく、生協の組織の仕組みそのものが、SDGsとつながっていることを確認しました。そして、SDGsの17の目標に貢献する為に以下の3つの優先課題を設定しました。

- ①2030年までに組合員世帯加入数11万人を実現し、さらに地域・くらしに貢献できる組織へと発展する。
- ②こうち生協独自カタログを通じて地場商品の普及に貢献するなど、組織内外にエシカル消費を普及していく。
- ③商品カタログに使用する紙使用量を2030年までに2021年度比で10%削減。

今年から2030年度に向けて、この優先課題を中心にSDGsの17の目標達成に貢献していきます。

世界中で気候変動が原因と思われる、大規模な自然災害が立て続けに発生しています。また経済格差や貧困問題、教育格差などの拡大が続いています。あらためて、SDGs持続可能な社会を実現する目標を、企業は、また個人はどう自分事としてとらえて行動していくのかが問われています。そういった社会環境の変化の中で、「サステナブル」を意識した消費行動やくらし方が広がってきています。

「私のくらしと地域が、日本が、世界が、地球がつながっているんだ」という生活者の行動が、持続可能な社会を実現していこうとしています。

今回の「こうち生協CSRレポート」は、こうち生協の事業や活動、組合員さんの社会貢献活動への参加を、SDGsの目標との関係で編集をさせていただきました。ぜひこのレポートを一読いただいて、今後のこうち生協の事業・活動に対してのご意見をいただければと思います。

代表理事 理事長 佐竹 一夫

こうち生協とは



くらし、よりよく、力あわせて

生協(せいきょう)とは「生活協同組合」のことで、私たち消費者がくらしのなかで生まれる共通の願いを実現するために手を取り合って自ら運営していく組織です。安心・安全な食とくらしを求め、組合員一人ひとりが「出資」「利用」「運営」に参加することで支えられています。

生協は営利を目的とせず、人と人の結びつきにより、よりよいくらしを実現することをめざしています。

こうち生協がめざしているもの

基本理念

健康と子どもたちの未来のために

- 人間らしい豊かなくらしの創造、よりよい環境と平和をめざします
- 地域住民のくらしと健康を守り、住みよい地域社会づくりをめざします
- 協同の輪を広げ、県民の多数が参加する組織をめざします
- 地場生産者と手を取り合い、安心・安全なコープ商品の開発をすすめます
- 地域のさまざまな団体、商工業者のみなさんとともに「協力・協同」を強め、明るい町づくりの取り組みをすすめます
- 継続発展できる経営基盤の確立と人材育成をめざします

1985年11月18日、こうち生協は2,013人の組合員によって立ち上がりました。すこやかな未来とよりよいくらしのためにお互いに支え合い、理想を実現しようと集まった組合員は高知県全域で10万人を超え、その輪はますます広がっています。

こうち生協のSDGsの取り組み

こうち生協では協同組合の理念のもと、地域社会のよりよい環境と平和のために取り組んできました。こうち生協の目指す方向性は国連で採択された「SDGs」と重なり合うものが多くあります。こうち生協の活動を通し、SDGsの達成に貢献したいと考えています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



こうち生協では、SDGsの17の目標のなかでも、次の3つの課題に優先して取り組みます。



■ 2030年までに 組合員世帯加入数 11万人を実現

こうち生協は宅配、店舗、共済、サービスの4つの事業を通じて、組合員さんと地域の暮らしを支えています。2030年までに組合員世帯加入数 11万人を実現し、さらに地域・暮らしに貢献できる組織へと発展することを目指します。



■ エシカル消費の普及

環境、地域、社会、人々に配慮した商品を「エシカル消費」と位置づけます。こうち生協では、こうち独自カタログを通じて地場産品の普及に貢献します。またイベントや広報を通じて組織内外にエシカル消費を普及します。年1回イベント開催。



■ カタログの紙使用量を削減

商品カタログに使用する紙使用量を
2030年までに2021年度比で10%削減します。



誰もが安心して くらし続けられる 地域社会づくりに参加します

こうち生協は、誰一人残さず安心してくらし続けられる地域社会づくりに参加します。諸団体との連携を大切にしながら、生協の事業や活動のインフラを活用し、地域のお役立ちを進めます。



行政・地域諸団体との連携



■ 地域を見守る取り組み

宅配事業の基盤を活用した「地域の見守り活動」は、配達の際に担当者が異変に気付いた場合、事前に取り決めた連絡先に連絡を行うものです。



- 2007年10月19日 高知県、こうち生活協同組合、高知県民生委員会・児童委員協議会連合会の3者の間で「地域見守り協定」を締結。
- 2008年10月14日 高知県民生委員協議会連合会と、高知市における地域の見守り活動に関する協定を締結。

■ 災害時に早期支援を

こうち生協は大規模災害等の発生時に自治体や他県の生協と相互に協力して住民生活の早期安定を図るため、食料・飲料水・生活必需品等の供給や事業の早期再開支援を行う協定を結んでいます。

data □協定自治体/12 行政 □協定生協/5 生協 (2022年3月末時点)

■ 地域の団体との連携

「コープたんぽぽ」事務局と社会福祉協議会の連携から、高知市旭地区の「旭やるかい」、高知市江ノ口地区の「江ノ口地区ほおっちょけんネットワーク会議」といった、地域ネットワークに参加し、地域住民や他団体と一緒に情報の共有、困りごとの解決に取り組んでいます。



災害復興支援

2021年8月に全国各地での豪雨により、甚大な人的・物的被害が発生しました。こうち生協では豪雨により被災された方の生活再建に向けて支援募金に取り組みました。また、継続して行っていた東日本大震災などの被災地への支援を2021年度末で終了する事になりました。

data 東日本大震災被災者支援募金 1,240,400円
2021年8月豪雨災害目的募金 1,411,900円



地域社会の課題解決を目指して

地域におけるくらしの困りごとへの支援活動に取り組んでいます。

■配食事業「夕食宅配」を実施

こうち生協ではカロリーと塩分を調整した日替わりの夕食をお届けしています。日々の定期的なお届けを通じ、高齢者の見守りにもつながっています。2021年には東部の安田町、田野町、奈半利町へもエリア拡大をしました。



data □一日当りの食数/1526食 (2022年3月末時点)

■新型コロナウイルス自宅療養者への食材支援

こうち生協では高知県からの要請で、2022年2月より県内の新型コロナウイルス感染症で買い物に行けない自宅療養者の方々に、1週間分の食料や生活必需品を送っています。



data □出荷件数/491件 (2022年3月末時点)

■「もったいない」を「ありがとう」に

コープよしだ・かもべ両店で、フードドライブ活動に取り組みました。組合員さんから支援頂いた商品はこうち食支援ネットを通じて、支援を必要としている団体などに寄付させて頂きました。



data □支援物資の数/約550点



子育て支援

子育てしやすい地域社会をめざし子育て世代を応援しています。

■「子育てひろば」を毎週開催

コープよしだの組合員室で毎週開催。子育て中のお母さん同士の交流や情報交換、子育て経験のあるスタッフとの会話など、ゆっくり過ごせる場を提供しています。



data □開催回数/28回 □参加人数/親子でのべ258人 (2022年3月末時点)



くらしを見直す活動

組合員さんが学習できる場を創り、それらに関する情報提供を継続的に行っています。

■今知りたいことを伝える活動

LPA（ライフプランアドバイザー）の会では、大人から子どもを対象としてさまざまなセミナーや学習会を開催しています。2021年度は感染対策をとりながら、小規模のセミナーを開催しました。



data □組合員 LPA10 人 □学習会開催 28 回 □参加人数 338 人



4つの事業を通して地域のくらしを支える

■共同購入事業

6か所の支所より高知県下全土に商品を配送しています。ご自宅の玄関先にお届けする個人宅配、ご近所のグループや職場にお届けする共同購入、またお店や各拠点で商品の受け取りなど、組合員さんのニーズに応じたお届けをしています。



data □宅配事業全体の供給高/98億7,223万円（1万円未満は切捨て）

●配送トラックのラッピングで安全運転の啓発を

配送トラックに地域の幼稚園・保育園から募集したイラストやメッセージをラッピングしています。イラストを見て、ドライバーはもちろん、地域の皆さんに、改めて安全運転の大切さを感じて頂くことを目的とした活動です。集まったイラストはこうち生協の店舗で飾って多くの方にも見て頂きました。



◀イラストを採用された園児たちに感謝状の贈呈式を行いました。(写真右)

◀店舗での飾りつけ(写真左)

■店舗事業

日々のくらしに役立つ商品を提供し、地域に喜ばれる買い場づくりを進めるとともに、地域や組合員活動の場を大切にしたい、ぬくもりのあるお店づくりをめざしています。

data □店舗事業の供給高/19億8,755万円（1万円未満は切捨て）

●毎日の食生活を楽しく！際立つ「買い場づくり」

「キウイの日」「中秋の名月」などの歳時や記念日を意識したディスプレイで、組合員さんに季節の移り変わりを楽しみながら買い物をして頂ける買い場づくりをしています。



キウイの日にはスタッフの帽子に手づくりバッジを付けておもてなし▶

■共済事業

ケガや病気などくらしの「もしもの時」に備えるCO・OP共済は、組合員さんの支えとなることをめざしています。2021年度も全事業所で年間目標を超過達成する事ができました。

data □加入件数 69,555 件 □給付件数 10,217 件 □給付金額 691,910,422 円
□共済保険給付者ありがとうの声 1,110 件

●新型コロナウイルス感染への災害給付

CO・OP共済では新型コロナウイルス感染症と診断され、入院、あるいは医療機関などの指示により自宅療養された場合は、災害(ケガ)として入院給付金の対象となります。

コロナの大変な中、素早く対応して頂き、大変助かりました。

受給者の声より

data □新型コロナウイルス感染症給付金額 こうち生協 4,6450000 円(2021年4月～2022年3月末まで)

■サービス事業

快適なくらしづくりのお手伝いとなるよう、住宅、各種チケット、葬祭など生活に必要な様々なサービスの提携を広げることで、よりよいくらしへの貢献をめざしています。

data □サービス事業全体の供給高/1億4,347万円 (1万円未満は切捨て)

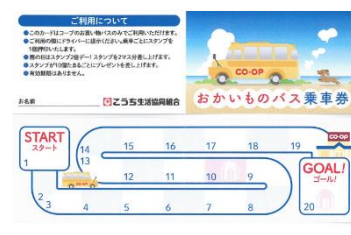
●「きらきらセット」の取り組み

妊娠中から3歳未満のお子さまがいる保護者の方を対象に、育児サポート商品の詰め合わせ「きらきらセット」をお届けしています。2021年度は行政の窓口や保育園、病院等の施設にチラシを設置したことで申込数が増えました。



●高齢者にも喜ばれるサービスを

来店が困難になった方を生協の店舗まで送迎するお買い物バス。2021年度は「スタンプカード」を導入したことで利用増加となりました。



健康づくりの取り組みを広げ 助け合い活動を進めます

あらゆる年齢の人々が地域でいきいきと
住み続けられるための健康づくりを食や運動、
助け合い活動などの組合員活動を通じて進めています。

関連する
SDGsの
目標

3
すべての人に
健康と福祉を

11
住み続けられる
まちづくりを

福祉・助け合い

こうち生協は組合員さん同士が助け合いの心を大事に活動できる場をつくるとともに、その輪が広がることをめざした活動を行っています。

■ 暮らしの助け合いの会コープたんぽぽ

「困った時はお互いさま」の気持ちを大切にする組合員さん同士の援助活動です。誰もが住み慣れた地域で安心してらせるよう、家事援助や病院等の付き添い・話し相手・産後の援助など幅広い活動を行っています。



data □利用会員数/71人 □活動会員数/35人 □賛助会員数 95人 (2022年3月末時点)
□総活動件数/1,306件 □活動時間/2434.5時間

■ 毎週の商品カタログを声でお届け

目の不自由な方へ、こうち生協の商品カタログの掲載内容を読み上げた音声CDを、登録組合員さんに毎週お届けしました。CDの製作には6人の組合員録音メンバーが毎週収録を行っています。



data □登録組合員数/19人 (2022年3月末時点)

食育の取り組み



「たべる*たいせつキッズクラブ」は親子料理教室などのイベントを通じて、子どもたちに食べることの大切さなどを、知る・学ぶ・広げる活動をしています。

data □イベント開催数/3回 □参加人数/親子 56人 (2022年3月末時点)

■ お家でチャレンジ

集まって調理することが難しいコロナ禍の中、ご自宅でレシピ動画を視ながらケーキ作りにチャレンジしてもらったイベントを開催しました。参加者からは子どもたちの様子を伝えるレポートがたくさん届きました。



年末の、学校も児童クラブも休みで子どもが暇をしている時に少しのサポートで、ひとりで作ってくれたので親は助かったし、子ども楽しんで満足。(一部抜粋) 保護者レポートより

平和な社会をめざす活動を進めます

私たちは、平和の実現をめざす活動を進めます。次の世代に戦争体験を継承するなど、平和な社会の実現に積極的に貢献します。

関連する
SDGs の
目標



平和活動

こうち生協の理念「健康と子どもたちの未来のために」の中には、「平和なくして生協なし」二度と過ちを繰り返さず、家族が健康で平和な生活をおくることができるようにという願いが込められています。こうち生協では創立以来、平和について考え学習するさまざまな取り組みを継続しています。

■ 平和への思いを折り鶴に

高知県内の各団体による平和のための企画「ピースウェイブ」にこうち生協も参加しています。7月に開催される平和七夕まつりには、高知空襲の被害が一番ひどかったといわれる高知市京町・新京橋のアーケードなどに高知空襲で亡くなった方たちへの鎮魂と平和への願いを込めて折り鶴の吹き流しを飾ります。今年も多くの組合員さんから折り鶴が集まりました。



■ 戦争の記憶を次世代に継承

こうち生協では配送にお伺いしている高知市内の放課後児童クラブを訪問し、平和の出前授業を行っています。「ぼくの見た高知大空襲」の紙芝居をDVDで視聴し、平和の折り鶴の吹き流しを解体する作業を体験するなど、子どもたちに高知大空襲の悲惨さ、平和の尊さを学んでもらう機会となっています。



data □開催回数/3回(2022年3月末時点)

■ ウクライナ緊急募金への取り組み

2022年2月にロシアによるウクライナ侵攻が始まり、約750万人の子どもたちの命と生活が脅威にさらされています。こうち生協ではウクライナの子どもたちの命を守るため、ユニセフ「ウクライナ緊急募金」に取り組んでいます。



data □募金額/51,000円(2022年3月のみの実績)

多様な人々が 共生できる 社会づくりを推進します

関連する
SDGs の
目標



地域活動を通じ、社会のジェンダー平等と多様な人々が共生できる社会の実現をめざします。

多様な人材が働く元気な組織に

組合員さんのお役にたち、職員が元気に働き続けられるような組織風土づくりを進めています。お互いの仕事から学び合える研修や学習を実施しています。また、やりがいを持って働き続けられる環境づくりのひとつとして専任職員や正規職員への登用制度を実施しています。

■安全防衛運転の取り組み

安全防衛運転推進のためにトレーナーを各支所に配置し、「安全運転トレーナー会議」を毎月開催することで、各支所の「ヒヤリハット」事例を共有し、安全防衛運転に繋げる仕組みを構築しています。また新人研修では、自動車教習所での安全運転講習や、内部指導員による OJT を実施しています。



■障がいのある方の働く場づくり

こうち生協の特例子会社(株)ハートフルコープこうちでは、障がいのある方の雇用を積極的に進めています。



data □雇用人数 12 人（2022 年 3 月末時点 特例子会社含む）

■職員のチャレンジ精神を応援

2014 年より定時職員から専任職員へ、専任職員から正規職員への登用を始めました。職員の成長と働きがいを促し、活力のある職場づくりを進めています。

data □2021 年登用実績
正規職員登用／2 人
専任職員登用／7 人



■定年後も経験とスキルを活かせる環境を

60 歳定年（再雇用）を迎える職員が、最長 65 歳まで働けるように定年後再雇用制度を設けています。

data □2021 年再雇用実績 5 人



持続可能な社会づくりをめざします

関連するSDGsの目標



こうち生協は、持続可能な社会づくりをめざし、「つくる責任」と「つかう責任」の循環をよりよくし、エシカル消費や持続可能な社会への理解を促進する広報や学習会に取り組んでいます。

また、組合員さんや地域社会とともに温室効果ガスの削減にも取り組んでいます。

エシカル消費の普及



全国の組合員の声を活かして日本生協連が開発し、全国の生協に供給しているコープ商品は、よりよい社会に向けて「地域」「環境」「社会」「人々」に配慮した消費行動＝エシカル消費に対応した商品づくりに取り組んでいます。

■ コープのエシカル消費4つの視点

1 豊かな地域を作り出せたら

生産者とのつながりや国産原料の使用拡大を通じて、日本の農畜水産業を応援。

主要な原材料に国産素材を使用している商品に付けるマーク



2 地球の環境を守り続けることができたら

急速に悪化する地球環境を保持するため、環境配慮商品の開発と普及に努めています。

人と自然にとって、より良い未来を推進する方法で栽培されたことを意味するマーク

ra.org/ja



3 公正な社会の仕組みが作り出せたら

商品を通じて社会インフラの改善や社会的公正の実現を目指します。

国際フェアトレード基準に基づいて認証を受けた商品につけられた認証マーク。



4 人々の「生きる」を支えることができたら

困難とたたかうを支え、生きる人々全てを応援します。

コープ化粧品1点の利用につき1円を、認定NPO法人J. POSH（日本乳がんピンクリボン運動）に寄付しています。

キャンペーン期間（期間限定）
2022年9月1日～10月20日

協賛：コープ化粧品



■ 「コープサステナブルシリーズ」登場

コープ商品では、環境や社会に配慮した主原料を使用したエシカル対象商品に、共通のロゴマークを付けてシリーズ化しました。こうち生協ではこうした商品の普及を通じて持続可能な経済の実現に取り組んでいます。



■エコチャレンジ2021

こうち生協では、エシカル消費の普及を目的に、組合員さんを対象として、お買い物した商品に付いているエシカルマークを集める企画「エコチャレンジ2021」を行いました。

イベント期間中、
店舗でエシカルコーナーを設置▶

data ▶ 応募数/のべ200人



■プラスチック削減への取り組み

プラスチックごみによる海洋汚染など、近年環境問題に対する意識が高まっています。コープ商品ではプラスチック容器重量の削減や再生プラスチック・植物由来プラスチックへの切り替えなど、できることから取り組みを始めています。



商品を通じた生産者とのつながり



こうち生協の産直は生産者と消費者がつながることによって安全・安心な商品を組合員さんに届けること、持続可能な農業と地域に貢献することをめざしています。

■地場産品を普及し、地元の経済循環に貢献

●地場産品カタログ

高知県内各地の地場産品を集めたカタログ「とさのゆさん箱」を毎月発行し、県内の企業・生産者さんと、組合員さんを繋ぐ活動に取り組んでいます。



●お店での地産地消

店内に産直コーナーを設置し、高知県産の農産物を販売促進しています。

また商品POPに生産者のコメントや顔写真を掲載するなどして県内産の商品を紹介し、高知県内の生産者を応援しています。

伝統野菜
入河内大根の販売▶



地球温暖化防止会議への参加



高知県が行う「高知県地球温暖化防止県民会議」に登録し、さまざまな取り組みに参加しています。

前年行われた「マイバッグキャンペーン 2020」でコープかもべ店が企業団体部門で一人当たりのCO₂排出削減量第1位となったことで表彰されました。

表彰式▶



■こうち生協 環境方針

～理念～

こうち生活協同組合（以下、こうち生協）は、「健康と子どもたちの未来のために」を基本理念とし、人間らしい豊かなくらしの創造、よりよい環境と平和をめざします。

～環境方針～

こうち生協は消費者が主体的に参加する組織であり、自らが食品・家庭用品等の供給、及び共済などの事業を行っていることを踏まえて、生協の活動が環境に与える影響を考慮します。環境に与える影響が大きな項目については、目標を設定し、定期的に見直すことにより継続的な改善を図ります。

1. くらしの見直しをすすめ、環境に優しい行動を広げます。
 - ・環境に配慮した商品の利用を広げます
 - ・環境に配慮したくらしを学び、実践します。
2. 事業活動による環境影響を改善します。
 - ・省エネや業務の効率改善、設備更新により、電気、ガス、水、車両燃料等の使用量を削減します。
 - ・適正な発注、在庫管理により、食品の廃棄ロスを削減します。
 - ・環境負荷を軽減する地産地消や環境影響に配慮した商品の取り扱いを増やします。
 - ・全国生協地球温室効果ガス総量削減長期計画に参加します。
3. 行政や地域の生産者、市民団体と協力・連携して環境に優しい取り組みを実施、支援します。
4. こうち生協や組合員さんの環境の取り組みを、生協内外へお知らせします。
5. 食品リサイクル法、容器包装リサイクル法をはじめとする環境関連法令、条例等を順守します。

この環境方針をこうち生協で働く職員に周知し、内外に公開するとともに、環境活動レポートなどで情報を公開します。

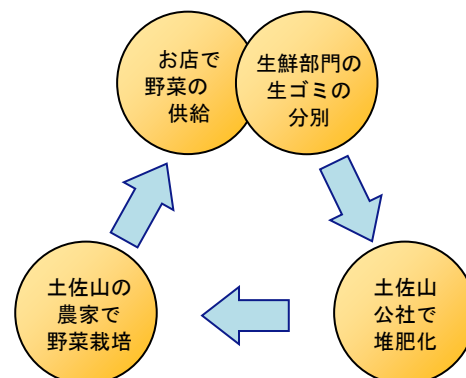
こうち生活協同組合 理事長

佐竹一夫

(2005年10月25日制定 2022年3月16日第12版改訂)

■食品廃棄物の削減

店舗では、生鮮の加工くずを堆肥にリサイクルするための収集作業に取り組んでいます。加工中に出る野菜くずや魚のあら等や賞味期限を過ぎて廃棄となる食品は「土佐山開発公社」が製造する堆肥の原料の一部となっています。出来上がった堆肥は、土佐山地区での農産物の栽培時に使用され、収穫された産直野菜をこうち生協の店舗で販売しています。こうした循環型農業の実現を応援しています。



■食品リサイクル

食品廃棄物の発生量	147.0	トン
食品循環資源の(両店舗の生ゴミリサイクル)再利用の実施量	73.9	トン
食品廃棄物等の廃棄物としての処分の実施量(店・センターの廃棄商品)	73.1	トン

■食品リサイクル法への対応状況

法で要求される基準実施率(2007年度の実施率+毎年2%)	53.3	%
当年度のこうち生協での再生利用等実施率	59.7	%

■容器包装などの回収・リサイクル

①店舗

店頭でペットボトル、牛乳パック、トレイ、アルミ缶を回収し、リサイクルを行っています。また、ペットボトルのキャップを回収し、回収収益から医療支援や障がい者支援、子ども達への環境教育等の社会貢献活動を行う団体に提供しています。



②共同購入

- 商品カタログ → 再生紙に再生しています。
- 商品注文書 → 主にトイレトペーパーとティッシュに再生しています。
- 牛乳パック → 主にトイレトペーパーとティッシュに再生しています。
- 保冷箱内袋 → 固形燃料に再生しています。

■容器包装等の回収データ

回収品目	回収量	単位
容器包装等の回収	紙パック(アルミ不使用)	11,855 kg
	食品トレイ(発泡スチロール)	1,550 kg
	アルミ缶	12,345 kg
	PETボトル	19,362 kg
	卵パック	2,544 kg
宅配商品カタログの回収	1,738,410	kg
宅配商品を入れる内袋の回収	21,739	kg

プラスチック資源循環の取り組み

店舗で使用する食品トレイの一部でリサイクルトレイを使用しています。店舗では使用済みトレイの回収も行って、「トレイ to トレイ(R)」の資源循環に取り組んでいます。



■エネルギー問題

再生可能エネルギーの取り組み

2012年6月に、「こうち生協のエネルギー政策と原子力発電に関する基本的な考え方」として以下の5つの項目にまとめ公表しました。

- ① 原子力発電に頼らないエネルギー政策への転換が必要であると考えます。
- ② 福島原発の事故の原因と責任について、国が国民に明らかにすることが必要と考えます。
- ③ 再生可能なエネルギー利用の促進が必要と考えます。
- ④ 事業活動において、今以上に省エネルギー化を進めていくことが必要と考えます。
- ⑤ エネルギー消費がより少ない暮らしについて一人一人が考え行動していくことが必要と考えます。

2003年5月から、太陽光を利用した市民共同発電所「太陽くん」がコープよしだの屋根で稼働しています。これは県内外の市民有志が共同出資し、こうち生協が屋根を提供しているものです。発電された電気は生協が買取りコープよしだで使用しています。

2014年8月末に商品センター、2015年7月から中央支所、9月から須崎支所の屋根に太陽光発電設備を設置し、発電を開始しました。



発電容量:571,255kwh

事業での省エネ

本部事務所でのクールビス、店舗・商品センター・リサイクル棟の屋根の断熱塗装、省エネ機器・LED照明の導入を実施し、電気消費の節約を進めています。商品センターではアンモニアを冷媒とする冷凍冷蔵設備を導入することにより、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいます。共同購入事業では、効率的な配送コースを組むことにより車両燃料の省エネを心がけています。

■車両について(生協で使用している車両の台数)

自生協で所有またはリースしている配送用トラック	ディーゼル車	100	台
	ガソリン車	8	
	LPG車	0	
	合計	108	
自生協で所有またはリースしている営業車	ガソリン車	50	台
	ガソリンハイブリッド車	2	
	合計	52	
委託業者が宅配事業(共同購入・個配)で使用している車両(トラックのみ)	ディーゼル車	22	台
	ディーゼルハイブリッド車	10	
	合計	32	

■車両の環境対策で実施していること

共同購入・個配の混合などでの 配送効率向上による走行距離の短縮	○
配達曜日・時間変更による コース変更による走行距離の短縮	○
地図システム等の活用による コース最適化による配送効率の向上・走行距離の削減	—
より低公害(NOx,PM)車両の導入	—
より低燃費(燃料購入価格、CO2 排出量)車両の導入	○
→低燃費車の具体的な車両の種類	低燃費車
エコドライブの取組み(具体的に:急発進の抑制による)	○
デジタコ・車載機などのエコドライブ支援機器の利用	—
組合員拡大業務のためのトラック使用の削減 (例:乗用車使用、トラック相乗り等)	○

■事業所での電気使用状況

	単位	2020 年度	2021 年度	前年比
共同購入	kwh	391,345	401,668	102.6%
店舗	kwh	2,183,247	2,202,730	100.9%
商品センター	kwh	1,076,293	1,077,110	100.1%
本部	kwh	70,230	70,970	101.1%
全体	kwh	3,721,115	3,752,478	100.8%

組織の概況について

■名称:こうち生活協同組合 ■代表理事 理事長:佐竹 一夫

■創立:1985年11月18日

■事業所一覧

事業所名		所在地	のべ床面積
本部事務所		高知市薊野中町 16-8	601 m ²
共同購入 配送支所	中央支所	高知市南河ノ瀬町 156	2,015 m ²
	東支所	高知市大津乙 916-1	952 m ²
	安芸支所	安芸市津久茂町 11-8	687 m ²
	須崎支所	須崎市桐間東 46	779 m ²
	四万十支所	四万十市具同 6242	952 m ²
	南国支所	南国市篠原 1784-1	872 m ²
店舗	コープよしだ	高知市吉田町 6-6	1,778 m ²
	コープかもべ	高知市鴨部 2 丁目 4-43	2,213 m ²
商品センター		南国市三和琴平 1-1743-12	4,417 m ²

■主な事業内容

消費生活協同組合法に基づいた生活協同組合で、協同互助の精神に基づき、組合員の生活の文化的経済的改善向上をはかることを目的としています。

事業種目	主な事業品目
供給事業	農産、水産、畜産、日配品、加工食品、菓子、パン、卵、冷凍食品、日用雑貨、衣料品、配食サービス、その他
受託共済事業	CO・OP 共済《たすけあい》《あいぶらす》、終身共済、火災共済等
サービス事業	各種チケット、住宅新築・改築、布団クリーニング、エアコンクリーニング、ギフト、書籍、葬祭事業、引越、その他
その他	提携サービス等

■事業概況

組合員数	103,627人
（内訳）共同購入	（74,163人）
店 舗	（29,464人）
事業高（供給高）	120億325万円
（内訳）共同購入	（98億7,223万円）
店 舗	（19億8,755万円）
サービス	（1億4,347万円）
出資金	44億2,541万円

※1万円未満は切り捨て

※2021年度(2021年4月1日～2022年3月31日)集計



CSRレポート

2022

こうち生活協同組合

〒781-0013 高知県高知市薊野中町 16-8

TEL : 088-826-5211 FAX : 088-826-5252



<http://www.kochicoop.or.jp/>

こうち生協

